平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	建築住宅課	課かい長名	宮端　晋也

組織目標	市営住宅の維持管理の適正化に努めます。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
建築住宅課①	**八代市移住定住促進空き家調査事業** 建設部⑤	①具体的目標	①旧八代市内（二見校区を除く）の空き家の実態調査及びデータベース化を行う。 ②H28年度からの空き家バンク事業の本格稼働に向け、要項等の整備を行う。	○6月ごろ、空き家調査及びシステム構築業務委託を発注する。 ○7月～12月にかけて、市政協力員の資料確認後、現地調査業務を実施する。 ○1月ごろ業務委託を完了する。 ○2月～3月にかけて、空き家バンク登録意向調査及び、要項を制定する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	②について ・市政協力員・民生委員の協力が不可欠なため理解を得る必要がある。 ・H28年度以降の本格稼働に向け、宅地建物取引業者及び行政書士等の協力が不可欠なため理解を得る必要がある。							②課題・特記事項等	
建築住宅課②	**市営住宅家賃等滞納整理業務**	①具体的目標	・市営住宅家賃等の滞納整理を推進し、歳入の確保を図る。 ・現年度分の収入率は、近年94%台で推移しており、H27年度の目標は96.0%とする。	・滞納者に対し、滞納相談を随時実施し、滞納者の状況に応じて、分納誓約、和解、訴訟等を行う。 ・徴収員による計画的な徴収を実施すると共に、催告書等の送付、電話催告、滞納者の呼び出しによる面談を行い、定期的な納付を指導する。 ・滞納者が多重債務に陥っていることが分かった場合、消費生活センター、市民相談室、司法書士会、裁判所への法律相談を推奨し、個人の経済状況改善を図ることにより、結果的に滞納整理を進める。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	・継続した納付を進めるため、滞納者の家計状況等を考慮した分納計画を作成する必要がある。 ・消滅時効期間を経過した債権の取扱い方針を決定する必要がある。 ・債務名義を得た債権は、建物明け渡しの強制執行を断行しており、債権執行等についても、内部情報の共有化を図り断行に至るよう体制の整備が必要である。							②課題・特記事項等	

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
建築住宅課③	**若宮団地建替え事業**	①具体的目標	「八代市住生活基本計画（住宅マスタープラン）」の下位計画である「八代市営住宅長寿命化計画」のストック活用手法により、建替えと判定された若宮団地の建替えを実施するため、H27年度は基本構想の策定を行う。	〇8月ごろ基本構想策定業務委託を発注する。 〇9月に入居者に説明及びアンケートを実施する。 〇10月ごろ基本構想（案）を策定し庁内の調整を行う。 〇3月までに基本構想を策定する。また、入居者に説明会を行う。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	・八千把地区土地区画整理事業の進捗と整合を図る必要がある。 ・区画整理事業が遅れることになると、入居者の募集停止状況が長引くことになり、空き家の老朽化が進み、環境の悪化が懸念される。							②課題・特記事項等	